

**第3次日野市立図書館基本計画（素案）
パブリックコメントによる募集意見と回答**

平成30年2月
日野市立図書館

パブリックコメントの概要

第3次日野市立図書館基本計画を策定するにあたり、パブリックコメントを実施しました。

○実施期間：平成30年1月5日（金）から平成30年1月26日（金）まで

○公開資料：第3次日野市立図書館基本計画（素案）

○募集方法：日野市ホームページと日野市立図書館ホームページへの記載、以下各図書館や窓口における計画（素案）の設置とともに、広報へのお知らせを行い、意見を募集しました。

計画（素案）設置場所一覧

- ・日野市立図書館（各館）
- ・七生支所
- ・豊田駅連絡所

○提出者数 11名
うち、メールでの提出者数 6名
書面での提出者数 5名

ご意見の要旨とそれに対する回答

○「序章 はじめに」に関するご意見

	ご意見の要旨	回答
	1 ページ 「日野市立図書館のあゆみとこれから」に関して	
1	<p>ここにはこれまでの様々なサービスの成果が記されており、現在の公立図書館のけん引役であったことが良く分かる。しかし、これらを支えてきた職員の姿がどこにもみえない。これだけのサービスを支え展開させてきた専門職員の存在を記しておく必要があると思う。</p>	<p>日野市立図書館のこれまでの事業を担ってきたのは、専門職である司書をはじめとする職員であることはゆるぎない事実です。</p> <p>第3次日野市立図書館基本計画は、これからの日野市立図書館のあるべき姿、方向性を示すものであり、その前提として序章にこれまでの経過を簡略ではありますが掲載しているものであり、計画の文言等は、このままとします。</p>
	4 ページ 「第5次日野市行財政改革大綱」に関して	
2	<p>『「民間活力導入の検討も含め、課題の整理・見直しを行う」と「民間活力導入の検討」が初めて明文化されました』とあるが、この素案では「指定管理者制度の導入」に関する基本計画の考え方が明示されていない。</p> <p>「民間活力の導入」は一つの視点だとは思いますが、公立図書館は、直営で運営しないと多くの課題・問題点が出ることは、明らかで、日野市において「図書館には指定管理者制度を導入しない」という基本計画を明確に打ち出すことに注目している。</p>	<p>第3次日野市立図書館基本計画は、日野市立図書館のあるべき姿、方向性を示すことを目的に策定するものです。第5次行革については、策定委員会の中でも議論し、さまざまな意見が出たところです。今後の課題もあり、第5次行革の中で図書館サービスの質の向上と運営の効率化を推進するため、課題の整理・見直しを行っていきます。</p>

○「第2章 日野市立図書館の現状と課題」に関するご意見

	ご意見の要旨	回答
	8～9ページ 「日野市立図書館の課題」に関して	
3	課題の5項目に関して、「本と出会うキッカケづくり」を広くダイナミックに取り組んでいただきたいと思う。	基本方針3 「市民の読書活動を推進します」の中に記載した方向性を推進することで、広く取り組んでいきたいと考えます。

○「第3章 基本理念と基本方針」に関するご意見

	ご意見の要旨	回答
4	基本理念はどのように進められてきたか知りたい。第1次、第2次、第3次と受け継がれて来たのか。	第1次日野市立図書館基本計画から「暮らしの中に図書館を」を基本理念とし、第2次を経てこの第3次日野市立図書館基本計画でも基本理念として「暮らしの中に図書館を」を継承しました。ただし、第3次日野市立図書館基本計画では、「本と出あい、人と出あう、『知のひろば』が地域の文化を創る」を基本理念の下に新たにつけました。これは、「暮らしの中に図書館を」の基本理念のもと、市民の「よりどころ」でありたいと願い運営してきましたが、「本と人」「人と人」「人と地域」をつないでいきたいという願いをより鮮明に打ち出すものです。

○「第4章 計画の内容（施策の方向性と取り組み項目）」に関するご意見

	ご意見の要旨	回答
	13 ページ 「施策1（3）市民の図書館活動・運営への参加」に関して	
5	図書館を利用する高齢者に対して、自らが地域貢献をしたいと思うようなプログラムを組んだり、ワークショップを行う。	「ボランティア活動の支援」の中の方向性を実現していく方策の一つのご提案と受け止めさせていただき、文言等はそのままといたします。
	13 ページ 「施策1（4）地域で活動する団体との連携」に関して	
6	引き続き、研修室を無料で借りられるようにしてほしい。	地域で活動する団体やサークルに対して、図書館の集会室等の活動拠点を引き続き提供することも図書館の役割と考えます。
7	<p>・個人が昔の写真パネルにして展示したいという要望がある。発見隊としてパネルの作成を受注できることをPRして市民の要望に応えられないか。</p> <p>・「写真集 まちかど写真館 in ひの 第1集」の増刊、再発刊が求められている。「新編 日野百物語」ももっと部数が欲しい等の要望がある。この要望に応えられないか</p> <p>以上、市民の要望をかなえ、持続、継続的に日野宿発見隊が活動できるよう支援の継続を求める。</p>	<p>刊行物の発行や、まちかど写真館、様々なイベントの取り組みなど、日野宿発見隊の活動については、引き続き活動を支援していく方向性を計画の中に記載しています。</p> <p>計画の文言等は、このままとします。</p>

	ご意見の要旨	回答
	15 ページ 「施策2（1）くつろげる「居場所」としての環境の充実」に関して	
8	日野市中央図書館リニューアルオープンの際にはぜひ「銀座蔦屋書店」を参考にして、朝9時オープンにして、スターバックスをテナントとして入れ、本も喫茶店で読むことができるようにしていただきたい。	中央図書館リニューアルの際に、喫茶コーナーを設けるなどくつろげる雰囲気の空間をつくることとしています。この詳細は、リニューアルを具体化する際に検討します。開館時間については、現在も検討を行っていますが、この計画を踏まえて別途検討します。 計画の文言等は、このままとします。
9	清潔感のある、落ち着いて座れる椅子を配置してほしい。おいしいコーヒーなどを飲める喫茶スペースを設けてほしい。	中央図書館リニューアルの際に、喫茶コーナーを設けるなどくつろげる雰囲気の空間をつくることとしています。椅子や机についても定期的なメンテナンス等を行うことでくつろげる館内づくりに努めていきたいと考えています。 計画の文言等は、このままとします。
	15 ページ 「施策2（2）本を通じた出会い、交流の機会を創る取り組み」に関して	
10	日野市内で同じ本を何人もの方が読みたいと待っていることから、この方々が集まり読書後の感想を語り合う場を設けることで、コミュニケーションが生まれ、計画の基本理念に近づけるのではないかと。コーディネーターを図書館で引き受けていただけるとよいと思う。	読後の感想を語り合う場として読書会を、平成26年から図書館でも取り組んでおり、その参加者が自主的に読書会を立ち上げた例もあります。この取り組みを推進し、読書会等のイベントを開催する個人、団体への支援を行うとともに、各種イベントをコーディネートする役割を果たしていく方向です。

	ご意見の要旨	回答
	16 ページ 「施策3（1）本と出会うきっかけづくりの拡充」に関して	
11	認知症予防として高齢者が読む本は、どのような内容のものが良いか検討していただきたい。	ご意見の内容のテーマ展示等を検討します。 計画の文言は、このままとさせていただきます。
12	中央図書館リニューアルで、児童室を2階に移動させるメリットが知りたい。2階では子どもの足音などの振動が響く可能性があり、ベビーカーで来館する方にとっては1階の方が楽ではないのか。	子どもがのびのびと本と親しめるように、また、「子どもがうるさくするといけないので」等の心配のために足が遠のいていた乳幼児連れの方が来館しやすいようにするためです。また、2階に児童用トイレ等を設置できるので、より利用しやすくなります。足音等の振動は、必要性を確認してリニューアル時に対策を講じます。また、リニューアル時には利用者用エレベーターを設置してベビーカーで来館する方の利便性を図ります。 計画の文言等はこのままとします。
	16 ページ 「施策3（2）子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み」に関して	
13	『子どもが利用しやすい環境整備』の部分で、「子どもたちの学びのスペース」の設置の検討もお願いしたい。	中央図書館リニューアル時に、子どもがのびのびと本を読んだりできる児童室づくりを目指します。具体的なことは、中央図書館リニューアルプランの具体化の中で検討します。 また、地域館でも子どもが本を手に取り、学べるよう環境を整備していく方向性です。 計画の文言等はこのままとします。

	ご意見の要旨	回答
	17 ページ 「施策 4 (2) 利用につながる図書館情報の発信」 に関して	
14	<p>日野市内の図書館ツアーを定期的に行う。 夜のおはなし会、読書会等の開催。 高齢者施設等に出張おはなし会を行う。</p>	<p>図書館利用につながるよう、様々なイベント等を取り組むようにとのご意見と承ります。</p> <p>15 ページ 「施策 2 (2) 本を通じた出あい、交流の機会を創る取り組み」の中で、各種イベントを拡充する方向性を示しています。この方向性を実現することで、図書館利用につなげていきたいと考えます。実施する具体的なイベント内容は、この計画を推進していく中で検討いたします。</p> <p>計画の文言等は、このままとします。</p>
15	<p><「広報ひの」等積極的PRについて> SNS等インターネットを使ったPRの展開も研究とあるが、現状、日野市立図書館のホームページのみかと思う。ツイッターを使って新刊や特集PRをする他の図書館も多く、若い世代にPRするには特に効果があると考えられる。</p>	<p>ご意見のとおり、SNSも情報発信の有効な手段のひとつであると認識し、今後のPRの手段として活用する方向で研究していきたいと考えています。</p> <p>計画の文言等は、このままとします。</p>
	18 ページ 「施策 4 (4) 多様な利用者へのサービスの拡充」 に関して	
16	<p>駐車場は広いスペースをとって、人が行きやすい場所にして欲しい。</p>	<p>ご意見のような駐車場の拡大は、土地等の問題もありますので、大変困難な状況にあります。</p> <p>計画の文言等は、このままとします。</p>

	ご意見の要旨	回答
	19 ページ 「施策5（2）資料・情報の保存」に関して	
17	『定期的な図書の保存・除籍の仕分けに取り組みます』とあるが、図書館にとって資料保存は重要な責務であり、資料の定期的な仕分けによる廃棄は、資料提供の放棄と言わざるを得ない。将来に繋げられるような、書庫の整備をはじめとした資料保存の在り方を記述すべきと考える。	書庫の拡大は、困難であり保存・除籍の仕分けはやむをえません。日野市の地域・行政資料については12ページ「施策1（1）地域・行政資料の収集・提供・保存」の方向性に基づいて保存、整理をしていきます。「定期的な」の文言は誤解を招きかねないので、「他の図書館とも協力しながら、一定の基準に基づいて」に変更します。 除籍した資料でも、19ページ「施策5（3）資料・情報の提供体制の充実」の方向性にあるように、他図書館からの借用により、ニーズに応じていきます。
	19 ページ 「施策5（3）資料・情報の提供体制の充実」に関して	
18	読みたいと思う本がなかなか入手できない。希望者が多い場合には本の追加購入をお願いしたい。	本の追加購入は、リクエスト待ちの人数に応じて現在も行っていきます。 計画の文言等は、このままとします。
19	<予約システムについて> 予約、特にカウンターで予約・リクエストする場合は、すべて予約票に記入することを基本とできないか。カウンター対応がまちまちでわかりにくい。	現状として、日野市立図書館で所蔵している資料は貸出システムに入力するだけで予約受付としていますが、都立図書館や他自治体の図書館等の資料を予約する場合や、所蔵していない資料を予約する場合はリクエストカードを記入していただいています。現状の受付方法は、利用者の利便性を考慮したものです。

	ご意見の要旨	回答
	20 ページ 「施策5（4）読書案内・レファレンスサービスの充実」に関して	
20	レファレンスコーナーは多少声を出しても目立たない場所にある方が使いやすいと思う。静かだと声を出しづらく、内容が広く聞こえるため頼みにくかったという経験がある。	<p>相談内容によっては、周囲に聞かれない内容が含まれることもあろうかと思えます。内容によっては、別の場所に移るなどの配慮を職員が心がけるようにします。</p> <p>また、P37 「⑧中央図書館」の取り組みの中で、現在2階にあるレファレンス室、市民資料室の資料を1階に配架し、資料を探しやすくするとともに、利用者が気軽に図書館員にレファレンスサービスを依頼できるようにする方向性を記載しています。具体的なカウンター配置等は、中央図書館リニューアルプランを具体化する際に、ご意見なども踏まえて検討していきます。</p> <p>計画等の文言は、このままとします。</p>
	21 ページ 「施策6（3）職員の育成」に関して	
21	『近年図書館職員により高いスキルが求められていることを踏まえ、図書館サービスに関する専門的研修から接遇研修まで、ニーズに合わせた適切なテーマを選択して行う』とあるが、記載されている研修内容では難しいと考える。 より高度で専門的かつ地域との関り、まちづくりの中核としての役割を果たす図書館を支える職員の育成が求められているという内容の記述とするべきだと思う。	<p>第3次日野市立図書館基本計画の基本理念で「人と地域をつなぐ」ことを記載しています。この趣旨を踏まえ、ご意見を受けて文言を以下の通り修正します。</p> <p>「近年図書館職員に対して、より高度で専門的なスキルが求められています。<u>そして地域との関わり、地域の文化を創る拠点としての図書館を支える力量が求められています。図書館サービスに関する専門的研修や接遇研修をはじめ、図書館に求められる様々なニーズに合わせた適切なテーマを選択して行います。</u>」</p>

	ご意見の要旨	回答
22	サービスを継続・維持・発展させ、更に新たなサービスに対応していくためには、専門職員の継続的な育成が不可欠だと思いが、触れられていない。地域・利用者・日野市立図書館を知る専門職員の配置と育成は不可欠なので是非盛り込んでほしい。	21のご意見への回答にあるように、高度で専門的なスキルを持ち、地域の文化を創る拠点としての図書館を支えるという視点で研修を実施していきたいと考えています。
23	図書館には、図書館の専門的知識と技能を持った職員を継続的に配置することが絶対条件であることをどこかで触れることが必要と考える。	
24	パソコンでは不十分なきめ細かい情報を手に入れるためのバックアップとして、図書館職員によるアドバイスが必要。そのためには、何時でも十分な情報が得られるような窓口としての対応をしていただく職員への教育が必要だと思う。	レファレンススキル向上を目的とした研修を適宜実施、または外部研修を活用する方向性を実現することで、ご意見に応じていきたいと考えます。 計画の文言等は、このままとします。
25	窓口業務をおこなっている多くの嘱託職員にスキルアップの為の研修を積極的に行ってほしい。 嘱託職員に更新制限を設けることなく、希望者には継続して働くことができるようにするべきでは。 図書館の専門職としてのスキルアップのためには、正規職員・嘱託職員の司書の資格取得者の比率を高くすることも必要では。	「施策6（3）職員の育成」の「職員」は正規職員だけでなく、嘱託員、臨時職員も含まれます。それぞれに必要な研修を実施する方向です。 第3次日野市立図書館基本計画は、日野市立図書館のあるべき姿、方向性を示すことを目的に策定するものです。ご意見は承りますが、嘱託員の雇用制度、職員配置等の具体的なことは、基本計画の中で触れられる性格のものでないことをご理解願います。

○「第5章 地域の特性を活かした各館の取り組み」に関するご意見

	ご意見の要旨	回答
	36 ページ 「8. 中央図書館」に関して	
26	中央図書館での豊田ビールのイベントに参加したが、時間が経つごとに普通の図書館ではあまりできない会話が弾んでいるのを見て、おもしろいイベントだと思った。この企画だけでなく、閉館後に利用する機会があっても良いかと思います。鬼頭梓さんのモダンな建築をもっと自由に活かしてほしい。	中央図書館の閉館後を利用して、平成 29 年 11 月 18 日に「中央図書館で楽しむ TOYODA BEER」を開催しました。これ以外にも、平成 28 年に「トークライブ」として小規模な講演会を開催したこともあります。15 ページ「施策2 (2) 本を通じた出あい、交流の機会を創る取り組み」の中で示した方向性のとおり、講演会等を開催し、本を通じて市民が集う場の拡充を図ります。 計画の文言等は、このままとします。

○「第6章 計画の進行管理について」に関するご意見

	ご意見の要旨	回答
27	今まで第1次、第2次と進めてきた計画について、過去の評価はどうだったのか内容が知りたい。	第2次日野市立図書館基本計画の進捗管理報告を、日野市立図書館のホームページで見ることができます。 トップ>日野市立図書館について>図書館基本計画について ご参照ください。

○計画全体に関するご意見

	ご意見の要旨	回答
28	<p>行政内部のバランスもあると思うが、全体として踏み込み不足という印象である。基本計画の中で目標値の設定なども理事者との調整の上で明記しても良いのではと思う。目標を明確に打ち出すことで、計画の実効性を確実なものにさせ、計画実行の評価も出しやすいだろう。</p>	<p>第3次日野市立図書館基本計画は、日野市立図書館のあるべき姿、方向性を示すことを目的に策定するものです。目標値の設定は記載しませんが、年度ごとに施策の実施状況を検証し、図書館協議会に報告し、市民にも公表して点検評価を行うことで、計画を推進していきます。</p> <p>計画の文言等は、このままとします。</p>
29	<p>人口減少社会と超高齢社会が図書館に与える影響はあまり関係がないように思う。それよりも、パソコンとスマホ、テレビの影響が読書時間を少なくしているように思う。</p> <p>教育現場や市役所とも協力して、活字離れ阻止や本や新聞に親しむキャンペーンや図書館のPRなどに積極的に取り組んで欲しい。</p> <p>読書離れが大きな問題になってきているが、今回の基本計画に対してはそれへの対処方法が記載されていないように思う。</p>	<p>この第3次日野市図書館基本計画と第3次日野市子ども読書活動推進計画をすすめることで、読書のおもしろさ、大切さを改めて認識していただけるようになればと考えます。</p> <p>計画の文言等は、このままとします。</p>

	ご意見の要旨	回答
30	図書館の活動として、館内活動にとどまらず、できる限り市内各地へ飛び出して、市民の協力も引き出しながら動き回って欲しい。	第3次日野市立図書館基本計画は、図書館が、すべての市民の暮らしの中にとけこんだ地域の文化を創る拠点として、人が集い、新たなことが創られる場としての「ひろば」をめざすことを基本理念としています。これを目指すには、図書館員が市内各地に飛び出し、市民の協力も得ながら図書館を運営していくことが求められます。基本理念を後押しくださるご意見として受け止め、計画の文言等は、このままとします。

○その他のご意見

	ご意見の要旨	回答
31	貸出期間を現在の2週間を3週間にしてほしい。読みきれない場合が多く、延長をお願いしている。この制度はよい。	貸出期間については、短くしてほしいという意見も一方であることから、2週間が妥当と考えています。 計画の文言等は、このままとします。
32	一旦貸出した本は、消毒して貸出すようにしてほしい。	表紙が著しく汚れている場合は、洗浄するなどの措置を行っています。計画の文言等は、このままとします。
33	本の管理、保存、返却の悪い人がいるが、このような人には貸出さないよう規定を作る	返却期限を大幅に過ぎた場合は、貸出停止として本の返却を促す措置をとっています。また、本の激しい汚損や紛失の場合は、利用者に本の弁償をお願いしているところです。 計画の文言等は、このままとします。
34	開館日、時間等は現状が良いが、メ切は5時が良いのでは	開館時間については、現在も検討していますが、この第3次日野市立図書館基本計画を踏まえて、別途検討していきます。 計画の文言等は、このままとします。

